

平成28年度輸出に取り組む事業者向け対策事業
ジャパンブランドの確立に向けた取組

海外マーケット調査報告

～タイの中間層向け店舗における
かんきつ類の販売状況～

三重県農林水産物・食品輸出促進協議会 農産部会

タイ向けカンキツ輸出の現状と課題

現状

三重県農林水産物・食品輸出促進協議会農産部会の会員であるJA三重南紀は、H22年度からタイの富裕層向けにかんきつ類の輸出を行っている。現地では、上位等級品を富裕層向けの高級百貨店や高級スーパーを中心に販売を行っている。

タイ王国向けかんきつ類輸出量（t）

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
早生温州	1.7 PR用提供	7 PR用提供	8	14	19.4	10
中晩柑類			0.5 PR用提供	0.4	2	2.3

課題

- ①新たな検疫条件への対応ー検疫条件の追加
- ②タイにおける知名度の向上ー販売店舗や販売期間が限られている

調査の目的

今後、輸出に係るコストを低減し、農家所得の向上を図っていく為には、輸出数量の拡大が不可欠である。

現在は、上位等級品を富裕層向けの高級百貨店や高級スーパーを中心に販売を行っているが、さらなる輸出量の拡大には、中間層向けの量販店での取り扱いも必要となる。



中間層への販売可能性について調査を実施

調査の概要

日程 : 平成28年12月13日（火）～17日（土）

参加者 : 三重県農林水産物・食品輸出促進協議会

農産部会 会員

J A三重南紀 2名

調査品目 : かんきつ類

対象国 : タイ王国

対象店舗 : 中間層向け小売店舗

調査項目 : 他国産かんきつ類の販売状況

日本産かんきつ類の販売可能性

調査結果①

テスコロータス ラップラオ店



タイ産みかん



中国産みかん

店舗について

- ・タイと中国に展開する大型のスーパーマーケット店。
- ・タイのCPグループとイギリスのスーパーマーケットチェーン店のテスコのジョイント・ベンチャーとして1998年に設立。
- ・大型のスーパーマーケットの店舗形態として、タイ国内に55店舗を展開。

かんきつ類の販売状況

産地：タイ産と中国産

外観：傷が多く色もばらつきがある。

サイズは2S・3Sのものもある。

品質：外皮・内皮が厚く、食味は、糖度・酸度ともに低く水っぽい。

価格：タイ産65バーツ/kg（約200円）

中国産32バーツ/kg（約100円）

調査結果② ザモール・バンカピ



韓国産みかん



豪州産オレンジ

店舗について

- ・サイアムパラゴンやエンポリウムを展開するモール系列のショッピングセンター。
- ・店舗はバンコク郊外に位置し、店内はパラゴン等の高級デパートと比較すると庶民的な雰囲気。

かんきつ類の販売状況

- 産地：タイ産、中国産、韓国産、豪州産
- 外観：韓国産及び豪州産は、タイ産・中国産と比べ良好。
- 品質：韓国産及び豪州産は、タイ産・中国産と比べ良好。
- 価格：韓国産190/バスケット/kg（約600円）
豪州産199/バスケット/kg（約650円）

調査結果③ セントラル ラップラオ店



三重県産みかん



NZ産オレンジ

店舗について

- ・タイを代表する最大手の流通グループであり、H22年の輸出開始当初から三重南紀みかんを販売。
- ・ラップラオ店は、バンコクの郊外に位置する大型の複合商業施設。

かんきつ類の販売状況

- 産地：タイ産、中国産、韓国産、NZ産
外観：タイ産・中国産はキズが多くバラツキが大きい。
品質：タイ産・中国産はバラツキが大きい。
価格：三重県産499/バーツ/kg (約1,600円)
NZ産199/バーツ/kg (約650円)
タイ産159/バーツ/kg (約500円)
中国産99/バーツ/kg (約300円)

所感及び今後の進め方

所感

- ・現地調査では、他国産と比べ格段に品質の高い日本産みかんの需要は確実にあると思われることから、バンコク市内の高所得層（月収100,000バーツ以上・約16万世帯）だけでなく、中間所得層（月収30,000～100,000バーツ・約80万世帯）までをターゲットとすることができればマーケットは格段に広がる。
- ・他国産と比べ2倍から10倍程度の価格差があるが、安全・安心と高品質をPRできれば十分に可能性があると思われる。

今後の進め方

- ・中級品～下位等級品がタイの厳しい検疫をクリアできるかについてや価格設定について十分に検討を行っていく必要がある。
- ・これまで築いてきた日本産かんきつ類のブランド価値の維持に対する配慮が必要であり、今後、卸売業者・輸出商社との協議を行う。